啓林館　Revised ELEMENT English CommunicationⅡ(コⅡ337)　観点一覧

◆内容の取扱い

1. 言語材料は，使用頻度・活用範囲・一般的な配列順などを総合的に判断して配列し，教師にとって教えやすく，生徒にとって学びやすい教科書になっている。

2. 語数・使用語彙や表現などについて，段階的に変動するように設定してある。

3. 自国や他国の文化に触れ，新しい発見につながるような題材が厳選してあり，生徒の知的好奇心を駆り立て，学力向上や精神的な成長に寄与できるようになっている。

4. 説明文・伝記・物語など，さまざまな文体や使用場面に応じた英文が用意してある。

5. 聞いたり読んだりした内容を理解し，それをもとに自分の考えを述べたり，文章にまとめたりする機会が設定してある。

◆単元の構成・配列および分量

1. 本課を10課，読み物(Further Reading, Pleasure Reading)を3課設けている。

2. 各課の扉ページは写真・図・導入リスニング・英問・Can-Doリストで構成され，英語による導入を行いやすく工夫してある。

3. 本文の前に写真・図を見開きで収録したページ(Graphic Introduction and Retelling)を設け，授業前の導入と，授業後のリテリング活動に使用できるようにしている。

4. 本文は530～830語程度の標準的な英語で構成され，習熟度に応じて段階的に学習が進められるようにしている。本文を見開きで収録することで，全体のパラグラフ構成を見通しながら読み進められる形式にしてある。

5. 課末課題は①内容理解(Comprehension) ②語彙・表現(Vocabulary) ③文法(Grammar and Structure) ④問題演習(Practice) ⑤リスニング演習・コミュニケーション活動(Communication Activity)に分けて配列され，目的に応じて使用できるようにしてある。

6. 巻末に，各課の題材に関連する200～250語程度の英文と英問（Speed Reading）と，新出単語の英英定義（New Words & Phrases）を掲載し，速読の演習や新出語の意味の確認ができるようにしてある。